

「日常生活CO2情報提供ツール(仮称)(案)」に対する意見募集結果とその対応方針について

該当箇所	ご意見の概要	ご意見への対応方針
ツール全般に関するご意見		
頁		
	ウェブサイトでの公表をイメージしているようだが、携帯サイトで一部を手軽に見られることも検討していただきたい。	当面はウェブサイトでの公表を目指しておりますが、将来的には携帯における公表も視野に入れて検討を進めさせていただきたいと思っております。
	印刷をして提示・記入できる機能があれば、日常生活での実践に反映しやすいと考えられる。	ご指摘も踏まえ、家庭における温室効果ガスの排出削減の目標を家庭内に掲示する等の機能についても盛り込むことができるか、検討させていただきたいと思っております。
	利用者から温室効果ガスの削減のための秘訣を募集・掲示できるようにしておけば、新たな知恵の創出・普及につながるのではないかと。	ご指摘も踏まえ、利用者に対するアンケートの実施等により、各家庭からの知恵・ご意見を踏まえてツールを適宜更新していきたいと考えております。
	コンテスト・全国一斉実践などユーザーの参加感覚・仲間感覚を生み出す仕組みの検討していただきたい。	ご指摘も踏まえ、全国平均との比較・ランキングの表示などにより、ユーザーの参加感覚等を醸成する仕組みの構築についても検討させていただきたいと思っております。
	ツールの効果測定のため、ツールに登録をしてもらい経過報告をしてもいいか。	ご指摘も踏まえ、ツールの使用による温室効果ガスの排出削減の効果についても評価するため、必要なデータの収集を行っていききたいと思っております。
	火力平均係数により、特定機器の導入効果を課題に評価することは、各対策評価の公平性を欠くため、電気のCO2削減量の算定に際しては、今後詳細な制度設計にあたっては、引き続き全電源平均を用いるよう(火力平均係数などを用いて算定しないよう)お願いしたい。	温室効果ガスの排出削減のための個別対策の導入による削減効果を評価する方法については、対策の種類によって様々な考え方がありますが、いずれにせよ、ツールの利用者にとって分かりやすい方法とすべきと考えます。
	省エネ対策により、電力が削減される場合、その対策を適切に評価するには、対策により電気事業者側で影響を受ける電源(マージナル電源)と想定される火力電源の排出係数で、CO2削減効果を算定して示す必要があるため、「くらしの見える化」の頁の中で当該算定方法によるCO2削減効果を示すべき。	温室効果ガスの排出削減のための個別対策の導入による削減効果を評価する方法については、対策の種類によって様々な考え方がありますが、いずれにせよ、ツールの利用者にとって分かりやすい方法とすべきと考えます。
	企業や地方自治体にも類似した様々ホームページがあることから、国(環境省)が作成するツールとして、汎用性が高く、公正性・公平性の確保された、かつ利用しやすい内容としていただきたい。	日常生活CO2情報提供ツール(仮称)の作成にあたっては、ご指摘を踏まえた内容としたいと考えております。

該当箇所		ご意見の概要	ご意見への対応方針
ツールの特定の箇所に関するご意見			
頁			
p1	図1	「くらしの見える化」と「CO2環境家計簿」の使い分けについておおまかな説明がほしい。	ツールのトップページに「使い方の説明」の欄を設ける予定にしておりますが、その中でご指摘の使い分けについても言及させていただきたいと思っております。
p5	図5	省エネ製品の購入によって、買い換え費用を何年で回収できるか、という計算例を入れるなど、買い換えのヒントをより前面に出す方が良いでしょう。	買い換えによる費用の回収年数に関する情報についても、ツールに盛り込む、同様の情報を提供しているwebサイトへリンクをはるなどにより、今後充実を図っていきたく思います。
p5	図5	健全な森林育成は地球温暖化対策の一環でもあるため、FSC、SGECなどの森林認証についても記載の検討していただきたい。	図5に記載するマークについては、多数掲載することを予定しております。FSC、SGECなどの森林認証に係るマークの記載についても今後検討させていただきます。
p5	図5	図5は「低炭素なかいものヒント」を示すページであることから、「電気代節約のヒント・・・」を「二酸化炭素排出量削減のヒント・・・」とすべきではないか。	ご指摘を踏まえて、電気代の節約だけではなく、他のエネルギーの節約等も含んだ表現とさせていただきます。
p6	図5	省エネ性能の優れた製品には、電気・ガス等が使用されているため、「・・・消費電力が削減されるため・・・」を「・・・二酸化炭素排出量が削減されるため・・・」とすべきではないか。	ご指摘を踏まえて、電気だけではなく、他のエネルギー源についても考慮した表現とさせていただきます。
p6	図5	省エネ電球の省エネ効果には、基本的に温度は関係がないため、「・・・玄関などの寒いところ・・・」を「・・・玄関などの使用時間が短いところ・・・」とすべきではないか。	ご指摘を踏まえて、使用時間などより省エネ効果に影響を及ぼす要素を例示した表現とさせていただきます。
p6	図5	本事項の内容はエアコンに限らず、エネルギー使用機器全般に言えることなので、「・・・エアコンなどでは10年前の省エネ性能が・・・」を「・・・エネルギー使用機器全般に言えることですが、例えばエアコンなどでは・・・」とすべきではないか。	ご指摘を踏まえて、エネルギー使用機器全般に言及するなど、より汎用性のある表現とさせていただきます。
p8～p11	図7～図9	「CO2家計簿」は東京電力(株)の登録商標であり、表現を変更されたい。	ご指摘を踏まえて、「CO2家計簿」という名称を使用する場合には、必要に応じて東京電力(株)の登録商標であることを明示することを検討させていただきます。
p11	図9	全国平均などとの比較後に、節約に関する具体的なアドバイスを表示していただくと助かる。現案では、自分でヒントを探さないといけないため、比較をして終わりそうである。	ご指摘を踏まえ、各家庭のエネルギー消費実態に合わせたアドバイスを提示できるような構成ができないか検討させていただきます。
p12～p18	図10～図16	電気による給湯でもヒーター式とヒートポンプ式ではCO2排出量が異なることから、選択肢を分けるなど、日常生活CO2情報提供ツール(仮称)(案)の入力項目(選択肢)については、出来る限り実態に即したものとすよう、今後詳細な制度設計をお願いしたい。また、「寸法フリー」「寸法規定」の違いについては一般的に分からない可能性が高いため、こうした用語の丁寧な解説を加えるなど、初心者でも分かるように丁寧な説明をお願いしたい。	日常生活CO2情報提供ツール(仮称)(案)の入力項目(選択肢)の設定にあたっては、出来る限り実態に即したものにしたいと考えております。また、難解な用語については、初心者でも分かるような解説を記載したいと思っております。
p18	図16	国際的及び国内における定義にてらして、再生可能エネルギーとして挙げられている「燃料電池」「排熱利用」は項目から削除すべき。	ご指摘を踏まえて、「燃料電池」「排熱利用」については、別の項目として記載する等の措置を講じたいと思っております。
p18	図16	雨水・排水利用は再生可能エネルギーではなく、節水・循環型水利用であるため、掲載方法を見直すべき。	ご指摘を踏まえて、「雨水・排水利用」については、別の項目として記載する等の措置を講じたいと思っております。